

手話対策部報告

令和5年8月6日(日) 講師研修会 参加者:61名

- ・午前の部:社会福祉法人全国手話研修センター
発行手話通訳者養成テキストⅠ,Ⅱ,Ⅲ
編集責任者 坂井田美代子氏
講演テーマ「奉仕員養成講座の目的・
手話講師としての心構え・これからについて」



- ・午後の部:「講座進行で悩みはありますか」

グループに分かれて、困っていることや悩んでいることを
出し合い、話し合いました。



午前の講演は、講座の目標達成ができるよう受講生の学びを手助けするのが講師の仕事、指導の質は教材研究から、または失敗から学ぶことは大切など、講師の心構えを改めて学ぶことができました。

午後の部は、地域の指導で行き詰ったこと、講座進行で困ったこと、受講生に対してどのように援助していくのかなど、参加者のみなさんの悩みが浮き彫りとなりました。

受付で渡した付箋に書いていただいた一例をあげます。

- ・指導案や報告書はすべてきこえる講師が作成しているのですが、ろう講師がその内容を十分に理解しているのか。
- ・入門過程では、最初は受講生のレベルが同じだったが、だんだんと続けていく上でレベルの差が出てきている。そういう場合のフォローはどの方法が最適か？
- ・休憩時間に受講生が声のおしゃべりで盛り上がり、その内容を聞こえない講師に伝えない。
- ・講座が終わった後、交流場が少なく、奉仕員養成講座のみで終わってしまう。

①ペア講師の役割は？②奉仕員養成講座の目的は？③講師として大切なことは？
という課題があり、定期的な講師講習会が必要だと思いました。